



2023 年度
第 43 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
学校スポーツ暴力で
あざができて
懲戒処理期限が
ないって？



2
この3年で体育指導者
3197 人の犯罪で
資格取消し
性犯罪だけで 500 人余り



3
小1・2に
「体育」別の教科を作る
中学スポーツクラブの
時間も 30%拡大



4
障害者スポーツ選手の
人権侵害
実効性のある
指針を用意せよ



5
フェンシング学院で
コーチの性的暴行の情況に
申告など
未措置疑惑



01 KBS 2023.10.25

「学校スポーツ暴力」であざができて、懲戒処理期限がないって？



チーム内の過酷行為に苦しみ、極端な選択をしたトライアスロンの故チェ・スクヒョン選手事件。

トライアスロン国家代表出身で、2017年と2019年慶州市庁所属で活動していたところ殴打などの過酷行為に遭い、2020年6月26日に死亡した状態で発見されました。

このような体育界の暴力と不正を根絶するために2020年にオープンしたのがスポーツ倫理センターです。

文化体育観光部傘下機関で、被害者などの申告を受けて直接調査した後、捜査機関に告発したり、各体育団体に懲戒要請ができる権限を持っています。

3年経った今、うまく運営されているでしょうか？

国会教育委員会所属の共に民主党のカン・ドクグ議員室を通じて、センターができた後、全国小中高校内の運動部関連申告がどのように処理されたのかを調べてみました。

■ 「顔に唾を吐くまで」…依然としてスポーツ界の人権侵害

スポーツ倫理センターは、ある学校のサッカーチームの監督A氏が2021年に子供たちに暴行したという通報を受け付けました。

調べてみたら、A氏は生徒たちを列に並ばせて相次いで頬を殴り、ひどい時は生徒の顔に唾まで吐いたという事実が確認されました。競技が振るわなかったという理由などでした。

負傷で試合に出場できない学生に試合に出場させ、「試合内容が気に入らない」としてすねを蹴ったりもしました。

センターは調査の結果、申告内容が事実と確認されたとし、管轄体育会にA氏を重懲戒することを要求しました。その結果、A氏は永久除名されました。

■ 裁判所でもセクハラが認められたが……懲戒はまだ

この場合は比較的迅速に処理された事例です。しかし、すべてがそうではありません。

ある学校でトライアスロン競技のコーチを務めたB氏。生徒にセクハラをしたという問題が浮上しました。

B氏は2017年から2018年の間、外国に転地トレーニングに出て学生のお尻を指で刺したり、2人きりでいる時にマッサージをしてやるという言い訳で太ももを触るなどセクハラをしたことが調査されました。

B氏はセクハラの疑いを全て否認しましたが、裁判所は有罪を認めました。

スポーツ倫理センターは裁判所の判決を土台にセクハラ疑惑が全て事実と見られるとし、今年1月にB氏に対して懲戒を要請しましたが、結果は出ていません。

文体部はスポーツ倫理センターの要請を該当体育団体に伝えました。

しかし、この体育団体はB氏に対する懲戒可否などの判断を下していません。

■ 78 件の懲戒要請…半分は「何の知らせもない」

スポーツ倫理センター設立以後、全国学校内の運動部から人権侵害などの申告が受け付けられた後に処理された事件は計 82 件です。

このうち 4 件は捜査依頼につながり、残りの 78 件は懲戒が妥当だと判断し、各体育団体に懲戒要請書が渡されました。

だが懲戒要請の中で半分の 39 件は懲戒をしたのか、しなかったのかが不透明な「未返信」状態です。

文体部が懲戒要請公文書を伝達し数回督促する公文書も送ったが、各体育団体が何の返事もしなかったのです。

文体部関係者は「体育団体が懲戒に対する処分自体をせず結果が戻ってこない場合が多い」とし「2021 年に懲戒要請があったにもかかわらず、まだ処理されていない長期未処理事案もある」と明らかにしました。

現行法上、該当体育団体が懲戒要請をいつまで返信しなければならないという「義務規定」がないためです。

国会教育委員会所属の民主党カン・ドクグ議員は「スポーツ倫理センターの調査権を強化するなど制度的な補完を通じて体育界の不正と悪行根絶が必要だ」と強調しました。

国会には体育団体が懲戒処理結果を 90 日以内に文体部に報告するようにする内容の国民体育振興法改正案も発議されていますが、今のところ処理が不透明です。

この改正案にはスポーツ倫理センターの調査を拒否し妨害する場合、過料を賦課するようにする内容も含まれており、体育界の人権侵害改善に大きく役立つという意見が出ています。

出典：<https://news.kbs.co.kr/news/pc/view/view.do?ncd=7801337&ref=A>

02 ニュー시스 2023. 10. 23

この 3 年で体育指導者 3197 人の犯罪で資格取消し…性犯罪だけで 500 人余り



この 3 年間、3000 人余りの体育指導者が犯罪を犯して指導者資格が取り消されたことが調査で分かった。彼らのうち 500 人余りが性犯罪を犯したことが把握された。

しかし、人権侵害およびスポーツ関連不正関連者名簿法制定後も名簿公開は 1 件もなかったことが分かった。

正義党のリュ・ホジョン議員室が 23 日、文化体育観光部から提出された体育指導者資格取り消し関連現況資料によると、2019～2022 年資格が取り消された体育指導者は計 3197 人だ。

国民体育振興法は第 11 条 5 項と 12 条は「体育指導者の欠格事由」として性犯罪、児童虐待を犯したり禁固以上の刑を宣告された資格指導者などに対して資格取り消しを命じているが、これに該当する人員が 3000 人余りに達したのだ。

具体的に 2020 年 1504 人、2021 年 736 人、2022 年に 957 人が該当法に抵触し体育指導者資格を喪失した。

3000 人余りの資格取り消し者の中で飲酒運転など道路交通法に違反して指導者資格を失った人が多かった。

道路交通法違反が 1047 人、その他（精算不適正で処分を受けた場合）840 人、性犯罪 540 人、詐欺 402 人、暴行 251 人が後に続いた。麻薬 56 人、殺人 11 人も存在した。

種目別ではボディービル資格取り消し者が 712 人で最も多かった。次にテコンドー 504 人、水泳 279 人、その他 267 人、サッカー 166 人、バドミントン 152 人の順だった。

文体部は 2021 年 6 月、国民体育振興法にスポーツ不正にかかわった指導者名簿を公開するようにする条項を新設したが、条項新設以後 2 年以上、指導者名簿を公開しなかった。昨年 1 年間だけで 957 人の体育指導者が犯罪にかかわって資格が取り消されたが、法が曖昧で名簿を公開するのは難しいというのが文体部の立場だ。

これに対しリュ・ホジョン議員は「選手たちを保護するために不正体育指導者を現場から排除する強力な措置が必要だ」という現場の声を反映して法を改正したが、2 年半が過ぎても 1 件の措置もなかった」と批判した。

続けて「当時、文体部は体育界人権侵害根絶のために体育指導者の資格取り消しと名簿公開を通じて厳罰すると大々的に報道資料まで出して広報したが、いざ施行はしなかった」として「部署の職務遺棄としか見られない」と叱責した。

出典：https://www.newsis.com/view/?id=NISX20231023_0002492962&cID=10301&pID=10300

03 朝鮮日報 2023. 10. 30

小 1・2 に「体育」別の教科を作る... 中学スポーツクラブの時間も 30% 拡大



教育部が生徒たちの身体・精神健康増進のために小学校 1～2 学年教育課程に「体育」教科を別に作る方を推進する。中学校のスポーツクラブ活動も今より 30% 増やす。学校内で体育活動を拡大できるよう、

2028 年までに学校内のプールも 300 ヲ所追加設置する。

教育部はこのような内容を盛り込んだ「第 2 次学生健康増進基本計画(2024～2028)」を 30 日発表した。生徒たちの体と心が共に健康であるように、学校内の体育活動の機会を最大限増やし、精神健康診断および治療を拡大支援する内容を盛り込んだ。新型コロナウイルス感染症のパンデミックで学生たちが家で一人で過ごす時間が増え、体力は落ち、精神健康は悪化したという指摘が出たことによるものだ。

今回の計画によれば教育部はまず初等学校 1～2 学年が身体活動授業を最大限受けられるよう支援する。

このため、今はない「体育」教科を別途に分離新設する案も推進する方針だ。

来年から小 1～2 年生に導入される 2022 改正教育課程によれば学生たちは「楽しい生活」という統合科目を 2 年間 400 時間勉強することになる。この科目を担当した教師が授業時間を約 3 分の 1 ずつ分けて美術、音楽、体育（身体活動）を教える方式だ。これに伴い、小 1～2 年生は 2 年間身体活動授業が現行 80 時間から 144 時間に増えた。だが、教師の自主判断により授業進行過程で少しずつ美術・音楽・体育授業分量が調整されうるので分離が必要だという要求が体育界から出てきた。

教育部は今後「体育」教科を「楽しい生活」教科と分離して授業する方を推進するという方針だ。楽しい生活から体育教科が分離されれば、約40年ぶりのことになる。教育部関係者は「体育教科を別途に分離する場合、一定授業時間が確保され、体育専門担当教師を別に置くことができる」とし、「また体育授業を補助する初等スポーツ講師の助けも受けられるようになる」と話した。初等スポーツ講師は生徒たちが体育活動にもっと興味を持てるように雇用する一種の体育授業補助教師だ。

中学生の体育活動を増やすために「学校スポーツクラブ活動」義務教育時間も現行102時間を136時間に30%ほどさらに増やす。学校スポーツクラブ活動は一種の体育クラブ活動だが、教育部は3年間履行しなければならないスポーツクラブ活動時間を規定している。学業のために体育活動が後回しになりやすい高校生の場合、「高校単位制」が2025年から施行されるだけに、10単位は必ず体育科目で履修するようにする方針だ。

その他にも教育部は「授業前の朝運動」等、隙間時間を活用した体育活動プログラムを2025年までに全国すべての学校に拡散する方針だ。釜山教育庁の「朝の體仁智」政策のように希望する学生たちが朝・昼・放課後の隙間時間を活用して簡単な体育活動ができるよう学校がプログラムを支援するようにするものだ。

また、学校内の体育空間確保のため、学校複合施設を今年の39カ所から2027年には200カ所に拡大する。現在164カ所の学校内プールは、2028年までにさらに300カ所増やす計画だ。

新型コロナウイルス感染症のパンデミック以後、さらに悪化している青少年の精神健康回復対策も含まれた。危機青少年を選り分けるために毎年小1、小4、中1、高1を対象に進行する「情緒・行動特性検査」ツールを来年までにアップグレードし、この結果を保護者にオンラインで知らせることにした。現在は郵便だけで結果を通知し、保護者が確認しにくい場合が多かった。子供たち自らが大変な時に自己診断ができるように「心の健康診断アプリ」も開発する方針だ。

出典：

https://www.chosun.com/national/education/2023/10/30/6R43YK3P55FOHNFXFQCZDZS5YU/?utm_source=naver&utm_medium=referral&utm_campaign=naver-news

04 エイブルニュース 2023.10.27

障害者スポーツ選手の人権侵害、実効性のある指針を用意せよ

10月24日、文化体育観光委員会国政監査の席で障害者当事者であるキム・イェジ議員を通じて天人共怒する（訳注：天人共に怒ること、とうてい許ゆるしがたいこと）事実が明らかになった。それはまさに視覚障害者球技種目である「ショーダウン」（訳注：視覚障害者向けのスポーツの一つ）の国家代表選手チョ・ヒョナ氏がコーチ陣から侮辱・遺棄・放任などの虐待を受けた事実だ。

8月、英国で開かれたバーミンガムIBSA大会に出場したチョさんの主張によると、コーチ陣からトイレ用の用事などの基本生理現象処理さえも制裁を受け、試合当日に何の理由も説明せずに一人で放置されたと明らかにした。

チョさんは「ファン・テミン監督は突然、しばらく待てと言った後、どこかに消えて再び現れなかった。」として「私が試合をする番になったのに誰も来なくて周辺の助けを受けて競技場に入場することができた。」と打ち明けた。

視覚障害者に案内人なしに他の地域、それも言葉が通じない国に捨てられたということは想像できない生命の脅威まで受けかねないが、チョ氏は自分を最もよく保護し、導いてもらわなければならないコーチ陣にそのようなひどい目に遭ったのだ。

被害者はチョ氏だけではなかった。コーチ陣は7月から訓練過程から負傷した選手に治療費を直接負担させ、「お前たちはなぜ視覚障害以外に何一つまともなところがないのか」などの深刻な言語暴力があった。また、コーチの一人は選手たちに「叩くぞ」、「怒るぞ」、「殴るぞ」など非尊重的な言動をし、お尻を叩くセクハラまでしたのだ。

試合が終わった後、出国するまでの約3日間は、選手たちの食事の世話もせず、コーチの李氏に選手たちをすべて任せたまま観光に行ってきたことが分かった。

実際、障害者スポーツ選手の人権侵害はかなり深刻な水準だ。2020年国家人権委員会が発表した障害者体育選手の人権実態発表資料によると、障害者体育選手のうち暴力や虐待被害経験者は354人(22.2%)、性暴力被害に対する経験も143人(9.2%)で、多くの選手が性暴力などの身体的自由を侵害され、スポーツ活動過程で差別や嫌な思いを経験していることが分かった。

特に、ほとんどの選手が脅迫や悪口、侮辱的な言葉を聞いたことがあると答え、過度な訓練や気合入れなどの体罰や殴打(暴力)被害も相当なもの確認された。

他の国々は障害者運動選手の人権保障のために具体的な指針と制度を整備している。

英国障害者スポーツ連盟(English Federation of Disability Sport)は、10種類の政策標準を基準に、独自の障害者選手の人権保護ガイドラインおよび評価を通じて障害者運動選手の人権保護のために努力している。

10種類の政策標準を調べてみると、障害者運動選手の人権保護のために、障害者スポーツ環境の主体である障害者運動選手と指導者や両親に障害者運動選手の人権に対する認識変化のための教育を実施し、人権侵害が発生した場合にこれを処罰できる規定を含んでいる。

しかし、ここで注意して見る価値があるのは体育会の運営規定だ。加盟団体に問題が生じ、上位組織に問題を提起しても、調査後は体育会の規定上、懲戒を与える主体が再び加盟団体に戻るため、大半が自分の身内をかばうことで軽い懲戒に終わるとというのが現在の実情だ。これに対し合理的な懲戒体系を作るためには懲戒部分に対する定款改正が必ず必要であり、全体的に制度的検討が必要だろう。

障害者にはもはや虐待と暴力の対象ではない。今や韓国政府と体育界も絶えない障害者スポーツ選手の人権侵害に対して座視せず、強く処罰し再発防止できる特段の措置を取らなければならない。

したがって(社)韓国障害者自立生活センター総連合会は障害者スポーツ選手の人権保障と運動選手としての良質な生活を保障するために以下のように促す。

- 一、 今回の「ショーダウン」選手の虐待事件の真相を徹底的に調査し、加害者全員を厳罰せよ！
- 一、 政府レベルで障害者運動選手の人権実態調査を直ちに実施せよ！
- 一、 障害者運動選手の人権侵害を処罰できる具体的な指針と制度を早急に用意せよ！
- 一、 大韓障害者体育会は選手たちの人権を保護できる合理的な運営規定を設けろ！

2023年10月27日

社団法人韓国障害者自立生活センター総連合会

出典：<https://www.ablenews.co.kr/news/articleView.html?idxno=208240>

05 聯合ニュース 2023.10.26

フェンシング学院でコーチの性的暴行の状況に申告など未措置疑惑



元フェンシング国家代表の南ヒョンヒが運営する塾で指導者の性暴力状況が明らかになったにもかかわらず、適時にスポーツ倫理センターや捜査機関などに申告が行われなかったという。

26日、聯合ニュースの取材を総合すると、ソウル江南区にあるナム・ヒョンヒインターナショナルフェンシングアカデミーで働いていた指導者A氏が未成年者受講生2人に数ヶ月間セクハラなど性暴行を日常的に行ったという被害者側の告訴が7月頃、警察に受け付けられた。

A氏は告訴がなされてから数日後の7月初め、院内で性暴力疑惑が公論化されると、極端な選択をしたと伝えられている。

センターは私設塾の代表であるナム・ヒョンヒがこのような問題をすでに認知しながらも十分な措置をしなかったという申告も追加で受け付け調査を進めている。

センターによると、南ヒョンヒは関係機関に適時に院内性暴力事態について申告しなかったものと見られる。

国民体育振興法第18条の4②項を見れば指導者・選手・その他文化体育観光部令で定める「選手管理担当者」は体育界人権侵害・不正や疑い状況を認知したならばスポーツ倫理センターあるいは捜査機関に直ちに知らせなければならない。

文化体育観光部令によると、大韓体育会傘下の競技団体所属の指導者だけでなく、私設塾の運営者にも申告義務が課される。

センター側は南ヒョンヒやフェンシングアカデミー側から性暴力問題について別途に伝えてもらったことがないという立場だ。

このような中、南ヒョンヒは最近月刊誌女性朝鮮とのインタビューを通じて「ボーイフレンド」チョン・チョンジョ氏と結婚を控えていると明らかにし、議論の中心に立った。

インタビューと一緒に参加したチョン氏は財閥3世であり、負傷で引退した乗馬選手、青年事業家などと紹介された。

しかしインタビューが公開された直後、チョン氏に偽りの性別・詐欺前科・財閥3世詐称などの疑惑がふくらんだ。

実際に過去「女性」であるチョン氏が男のふりをしたり法人会長婚外子のふりをして常習的な詐欺を犯した事実が裁判所判決文を通じて確認された。

自分の履歴を知った南ヒョンヒが別れを告げると、チョン容疑者は南ヒョンヒの母親の家まで訪れ、26日ストーキング容疑で警察に逮捕され、取り調べを受けて釈放された。

チョン氏はフェンシングアカデミーの運営にも少なからず関与したものと把握される。

チョン氏は女性朝鮮とのインタビューで、「フェンシングアカデミーで（南ヒョンヒと）一緒に仕事をしているので（最近）よく会った」と話した。

これと関連して南ヒョンヒはフェンシングアカデミーでチョン氏の具体的な業務について「私がそれぞれの理由でフェンシングを学びたい人たちを教えるならば、チョンジョ氏は子供たちに必要な心理教育を芸術・体育として扱う事業をする」と説明していた。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20231026179300007?input=1195m>

06 週間スポーツニュース

文体委、「大韓体育会」など6つの公共機関に対する国政監査を実施

<https://www.gokorea.kr/news/articleView.html?idxno=746151>

麗水市「2023韓中日Eスポーツ大会」12月開催

https://www.newsis.com/view/?id=NISX20231030_0002501469&cID=10899&pID=10800

「BGMI韓国・インド・インビテーション」Eスポーツ親善試合終了…文化交流も活性化

<https://game.mk.co.kr/view.php?year=2023&no=829996>

デイリースポーツ韓国、第5回大韓民国生活スポーツ大賞公募

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20231030052100007?input=1195m>

スポーツ倫理センター「公金流用疑惑」元慶北ビリヤード連盟会長など3人の刑事告発決定

<https://mkbn.mk.co.kr/news/view.php?year=2023&no=818454>

プロサッカー選手協、城南FCと「スポーツ人権発展セミナー」

<https://www.kyeonggi.com/article/20231024580110>

第43回全国障害者体育大会で「ドリームパラリンピック」が開催される

<https://www.jnilbo.com/71802179712>

懲戒要請だけしてどうするんだ…… スポーツ界の不正・人権侵害事件の半分が「係留」

<https://www.hankookilbo.com/News/Read/A2023102313370004022?did=NA>

楊州都市公社イ・フンギョ社長「2023年全国優秀障害者親和体育施設」選定

<https://www.breaknews.com/995101>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>